

ISSN 1883-5015

Annual Report of
The Hiroshima Prefectural Technology Research Institute
Eastern Region Industrial Research Center
2023.4.1 ~ 2024.3.31

No. 37

広島県立総合技術研究所
東部工業技術センター年報

令和5年度
(第37号)

広島県立総合技術研究所
東部工業技術センター

目 次

1. 業務概要	1
(1) 研究開発業務	
(2) 技術支援業務	
(3) 技術サービス業務	
(4) その他	
2. 研究開発業務	2
(1) 課題解決研究	
(2) 基盤研究	
(3) 受託研究	
(4) 研究成果の公表	
3. 技術支援業務	5
(1) 技術相談・技術支援	
(2) 技術的人材育成の支援	
(3) 研究会活動	
(4) 他機関への協力・支援	
(5) 他機関との連携	
4. 技術サービス業務	13
(1) 依頼試験, 設備利用及び機器整備	
(2) 刊行物等による情報提供	
(3) 外部委員等の委嘱及び講師等の派遣	
(4) その他(技術交流等)	
5. 職員研修	20
6. 知的財産権	21
(1) 登録特許権等	
(2) 出願中の特許等	
7. 職員表彰と学位授与	22
8. 沿革・組織・規模	23
(1) 沿革	
(2) 組織	
(3) 職員	
(4) 土地・建物	
(5) 予算の執行状況	
付録 令和6年度組織	27

1. 業務概要

広島県立総合技術研究所は、県内の技術領域の異なる 8 センター（保健環境センター、食品工業技術センター、西部工業技術センター、東部工業技術センター、農業技術センター、畜産技術センター、水産海洋技術センター、林業技術センター）が属しており、県民の安心安全や県内産業の活力強化に貢献できる試験研究機関を目指しています。複数の技術の横断的・融合的な研究に取り組むことで、県民・産業ニーズに対応できるように努めています。

東部工業技術センターでは、「ゴム、プラスチック、繊維等の有機・高分子材料技術」、「金属系材料、木質材料等の加工・計測・分析評価技術」、「機械技術」、「光計測技術」、「電子技術」、「資源環境技術」等の分野を担っています。平成 30 年度には、機能強化事業として X 線 CT、3D デジタイザ、熱衝撃試験機等を新規導入し、デジタルものづくりを支援するための部署を新設しました。令和元年度には、経済産業省「平成 30 年度地域新成長産業創出促進事業費補助金（地域未来オープンイノベーション・プラットフォーム構築事業）」により、摩擦かくはん接合装置を新規に導入しました。また、令和 5 年度には、メルトインデクサーを更新しました。

(1) 研究開発業務

県内企業の発展や、企業の課題解決に繋がる研究開発に取り組んでおり、令和 5 年度は、一般財源による課題解決研究（共同研究型 1 課題）、基盤研究 13 課題と民間企業等からの受託研究 4 課題を実施しました。

これらの研究成果の移転・普及を目的に、センター研究報告等をホームページに掲載し、支援事例発表会を開催しました。

(2) 技術支援業務

地域企業の要望に基づいた技術課題の解決や新製品・新技術の開発を支援しました。

令和 5 年度の技術支援実績は、2,705 件（所内指導 2,631 件、現地指導 74 件）で、課題解決策を検討し技術支援レポートを交付する技術的課題解決支援事業は 118 件でした。

企業の技術人材育成支援としては、技術者研修を 3 課程（18 企業 28 名参加）実施しました。

また、ひろしま先進ものづくり研究会を事務局として運営しました。

(3) 技術サービス業務

企業からの依頼に基づいた試験を 6,799 件実施しました。また、企業が新製品・新技術を開発する等での試験研究設備・機器の利用は 5,499 件でした。

その他、外部から技術委員等の委嘱を受け、各種補助事業の評価・審査への協力や、技能検定委員、研修講師等への職員派遣を行いました。

(4) その他

保有する知的財産権の利活用状況を踏まえた登録特許等の継続・消滅等、整理を行いました。

2. 研究開発業務

(1) 課題解決研究

共同研究型として1課題（異材接合分野）を実施しました。

(2) 基盤研究

13 課題（異材接合分野、IoT 情報通信分野及び製品設計・数値解析分野）を実施しました。

(3) 受託研究

① 競争的外部資金等

○ 摩擦攪拌現象とアンカー効果を利用した新たな異種材料接合技術の開発

研 究 期 間	令和3～6年度	担 当 者	○坂村 勝、松葉 朗
予 算 区 分	一般研究開発助成（公益財団法人 天田財団）		
研 究 概 要	摩擦アンカー接合は、重ねて配置された材料に、先端が球面のツールを回転させながら押し込み接合する手法です。本研究では自動車用に多用されているGA鋼（合金化溶融亜鉛めっき鋼）とアルミニウム合金をターゲットとした摩擦アンカー接合技術確立を目指すとともに、CFRP（炭素繊維強化プラスチック）と金属の接合技術の開発も行う予定です。		
研 究 成 果	GA 鋼とアルミニウム合金の摩擦アンカー接合ではアルミニウム合金中に形成される鋼突起のひだ形状化と大量の化合物生成が課題でした。アルミニウム合金に表面処理を施すことで、鋼突起形状をメッキ無し鋼板とアルミニウム合金の摩擦アンカー接合継手と同レベルにすることができました。現在も、より強度向上できる手法について継続して研究を実施しています。また、CFRP とアルミニウム合金の接合では、摩擦アンカー接合と接着剤を併用することで引張せん断強度を大幅に向上させることができました。		

○ 摩擦攪拌接合材の高効率・高精度な良否判定法及び非破壊強度評価技術の開発

研 究 期 間	令和3～5年度	担 当 者	○山形 亮太
予 算 区 分	奨励研究助成（若手研究者枠）（公益財団法人 天田財団）		
研 究 概 要	本研究では、X線CTを用いた非破壊検査により摩擦攪拌接合材の内部形状を取得し、効率の良い接合条件良否判定法の構築を目指すとともに、CAEを活用した非破壊強度評価技術の開発を目的とした研究を行います。		
研 究 成 果	X線CTを用いて摩擦攪拌接合材内部に生じた欠陥の定量的な情報を抽出して、それら欠陥の情報をを用いて引張強度を予測する手法を構築しました。		

○ 摩擦かくはん点接合等においてインプロセスでの接合強度の予測技術の開発

研 究 期 間	令和4～7年度	担 当 者	○大石 郁
予 算 区 分	一般研究開発助成 （公益財団法人 天田財団）		
研 究 概 要	本研究では、摩擦かくはん点接合等に対し、より確実に、かつ迅速に接合品質を管理する手法を確立すること、すなわち、接合時において接合中の温度変化や振動などの挙動を捉え、それら挙動から接合強度をインプロセスで予測することを目的として研究を行います。		
研 究 成 果	摩擦かくはん点接合（位置制御）に対して、弊所の摩擦かくはん接合装置を用いて押込み深さ等を変化させて実験を行い、接合時の温度変化などの挙動データを収集した。収集したデータを解析した結果、温度等の3つのセンサから挙動を読み取ることで、接合強度の予測値と実測値との相関が $R^2=0.95$ と高い相関があることが解り、目標を達成することができた。		

② 民間企業等

受 託 件 数	受 託 研 究 費
4 件	699 千円

(4) 研究成果の公表

① 投稿

ア 学協会への論文等投稿

No.	題 目	著 者	学協会誌等
1	メタルフローを利用した新たな異材接合技術（摩擦アンカー接合）	坂村 勝	自動車技術 77.7(2023) 40-44

イ 東部工業技術センター研究報告（令和6年2月13日発行）

【技術ノート】

No.	題 目	著 者
1	摩擦攪拌点接合におけるインプロセスでの接合強度の予測	大石 郁、大田耕平、坂村 勝
2	レーザ加工による溶射前処理手法の検討	大田耕平
3	深層学習による異常検知手法の簡単な比較（第2報）	廣川勝久
4	深層学習による異常検知手法の簡単な比較（第3報）	廣川勝久
5	深層学習による異常検知手法の簡単な比較（第4報）	廣川勝久
6	深層学習による画像の領域分割（第1報）	廣川勝久、花房龍男、中濱久雄

② 口頭発表

ア 学協会での発表

No.	題 目	発表者	学協会	開催日
1	摩擦攪拌点接合時における接合強度の予測	大石 郁	一般社団法人溶接学会 2023年度 秋季全国大会	R 5.9.14

イ センター支援事例発表会

No.	題 目	発表者	開催場所	開催日
1	探索時間 80%軽減！ 無線マイコンを利用した台車探索システムの開発	山 陽 染 工 株 式 会 社 品 質 管 理 部 次 長 藤山 大嗣 氏	セ ン タ ー 講 堂	R 5.10.25
2	立体形状物における摩擦かくはん接合技術の適用について	松 葉 朗		
3	かき殻による機能性壁材の開発	倉 本 恵 治		
4	製品の3Dモデル化について	山 形 亮 太		
5	高分子材料における異物分析手法について	青 山 進		
6	振動試験機の活用事例について	佐々木秀和		

講演終了後、機器見学を実施

ウ その他会議等

- ・該当無し

③ 展示会等出展

- ・該当無し

3. 技術支援業務

(1) 技術相談・技術支援

① 所内・現地別

担 当 部	所内指導		現地指導		合 計*	
	相談件数	企業数	相談件数	企業数	相談件数	企業数
技 術 支 援 部	87	41	33	21	120	51
デジタルものづくり支援担当	237	62	10	6	247	65
材 料 技 術 研 究 部	1,416	164	29	8	1,445	166
加 工 技 術 研 究 部	891	185	2	2	893	185
合 計	2,631	340	74	33	2,705	349

※同一企業で所内指導と現地指導があり、また複数部での指導があるため、企業数の合計は一致しない。

② 業種別

業 種 名	技術支援部		デジタルものづくり支援担当		材料技術研究部		加工技術研究部		合 計	
	件数	企業数	件数	企業数	件数	企業数	件数	企業数	件数	企業数
建 設 業	0	0	0	0	10	4	6	2	16	6
食 料 品 製 造 業	0	0	0	0	42	5	4	3	46	6
織 維 工 業	4	2	15	2	40	5	7	1	66	7
木 材 ・ 木 製 品 製 造 業	4	1	0	0	18	1	63	11	86	13
家 具 ・ 装 備 品 製 造 業	0	0	8	1	13	2	34	12	54	12
パルプ・紙・紙加工品製造業	0	0	1	1	15	4	29	8	45	9
印 刷 ・ 同 関 連 業	0	0	0	0	0	0	24	1	24	1
化 学 工 業	0	0	1	1	37	10	41	6	79	14
石油製品・石炭製品製造業	0	0	0	0	52	2	0	0	52	2
プラスチック製品製造業	11	2	6	4	336	27	67	8	420	31
ゴ ム 製 品 製 造 業	5	3	5	3	148	7	16	5	174	10
窯業・土石製品製造業	0	0	0	0	43	4	9	2	52	5
鉄 鋼 業	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1
金 属 製 品 製 造 業	15	8	16	5	107	13	168	29	306	44
一 般 機 械 器 具 製 造 業	14	6	56	15	143	17	196	41	409	56
電子部品・デバイス製造業	0	0	37	4	34	8	43	7	114	12
電 気 機 械 器 具 製 造 業	5	3	23	5	91	10	45	7	164	13
情報通信機械器具製造業	0	0	9	2	0	0	11	3	20	4
輸送用機械器具製造業	0	0	51	13	58	14	48	12	157	26
そ の 他 の 製 造 業	3	2	9	3	64	6	22	7	98	13
電気・ガス・熱供給・水道業	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1
情 報 ・ 通 信 業	0	0	1	1	0	0	2	1	3	2
運 輸 業	0	0	0	0	13	1	3	2	16	2
卸 売 ・ 小 売 業	0	0	1	1	30	5	7	5	38	11
学 術 ・ 開 発 研 究 機 関	8	5	0	0	20	6	2	2	30	11
技 術 サ ー ビ ス 業	7	4	3	1	68	6	21	4	99	10
学 校 教 育	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1
協 同 組 合	15	3	0	0	0	0	0	0	15	3
廃 棄 物 処 理 業	0	0	0	0	49	3	0	0	49	3
サ ー ビ ス 業	15	6	3	1	9	1	5	2	32	9
公 務	13	5	1	1	3	3	5	2	22	9
そ の 他	0	0	1	1	1	1	14	1	16	2
合 計	120	51	247	65	1,445	166	893	185	2,705	349

※同一企業で複数部での指導があるため、企業数の合計は一致しない。

③ 技術的課題解決支援事業

担当部	依 頼 目 的						合計	企業数
	新製品・ 新技術開発	品質改善、 品質保持	クレーム 対 応	他者への 証明	定期的な 試験検査	そ の 他		
デ ジ タ ル も の つ く り 支 援 担 当	6	0	1	0	0	0	7	5
材 料 技 術 研 究 部	12	3	8	2	4	0	29	14
加 工 技 術 研 究 部	21	38	22	4	1	0	86	40
合 計	39	41	31	6	5	0	118	54

※同一の企業が複数の課題を申請しているため、企業数の合計は一致しない。

※同一の課題で複数の目的を有する場合があるため、依頼目的数の合計は一致しない。

(2) 技術的人材育成の支援

① 企業等研究員受入制度

- ・ 該当無し

② 技術者研修

- ・ プラスチック材料技術研修

研 修 期 間	R 5.10.31（計 4.5 時間）		研修参加者	14 名（9 企業）	
研 修 内 容	新入社員もしくは若手技術者を対象として、基礎的な知識や技術の習得を目指し、プラスチック成形技術概論の座学と、射出成形、機械的特性測定の実習を行いました。				
研修カリキュラム	研 修 科 目		時間数	講 師	
	座 学	プラスチック成形技術概論	1.5	材料技術研究部 主任研究員 塚脇 聡	
	実 習	射出成形、機械的特性測定	3	材料技術研究部 部長 青山 進 主任研究員 塚脇 聡 主任研究員 谷口勝得	

- ・ FE 式走査型電子顕微鏡研修

研 修 期 間	R 5.12. 8（計 3 時間）		研修参加者	7 名（5 企業）	
研 修 内 容	FE 式走査型電子顕微鏡に関する概要の講義の後、実際に FE 式走査型電子顕微鏡を使った操作説明及び実演を行いました。				
研修カリキュラム	研 修 科 目			時間数	講 師
	座 学	FE 式走査型電子顕微鏡に関する概要及び観察方法の説明		1	日本電子株式会社 科学・計測機器営業本部 作田祐介 氏
	実 習	FE 式走査型電子顕微鏡の具体的な操作方法の説明と実習		2	

・メルトインデクサー研修

研 修 期 間	R 6. 1.24 (計 2 時間)		研修参加者	7 名 (4 企業)
研 修 内 容	メルトインデクサーを使った操作 説明及び実演を行いました。			
研修カリキュラム	研 修 科 目		時間数	講 師
	実 習	メルトインデクサーの操作研修	2	インストロンジャパン 材料試験機部門営業部 シニアセールススペシャリスト 山下 晋平 氏

(3) 研究会活動

① ひろしま先進ものづくり研究会

設 置 目 的	外部機関等の協力を得ながら、先進技術や共通的基盤技術に関する次代の技術者・経営者の人材育成や、企業間交流を活用した技術課題の解決により、企業における新製品・新技術の開発や新市場の開拓等を行います。
会 員 数	47 企業、11 団体
活 動 内 容	企業における新しい価値を創造することを目的として、先進技術に関する技術セミナーや共通的基盤技術に関する研修、交流会等を行うこととしています。

(活動実績)

回 次	内 容	参加者 (名)	開催日	開催場所
総 会	○ 令和 5 年度役員選出 ○ 令和 4 年度事業報告 ○ 令和 4 年度決算および監査報告 ○ 令和 5 年度事業計画 ○ 令和 5 年度収支予算	48	R 5. 7. 20	東部工業 技術 センター
第 1 回 研 究 会	○ 三菱電機における生産技術DXの取組み 三菱電機株式会社 生産技術センター 業務改革推進部 生産FAグループ 中居 雄太朗 氏 ○ 3Dプリンタ活用講座の進め方について 東部工業技術センター デジタルものづくり支援担当 担当部長 竹保 義博 氏 ○ 交流会（名刺交換会）	48	R 5. 7. 20	東部工業 技術 センター
第 2 回 研 究 会	○ 10万円でここまでできる！ 3Dプリンタ活用のすすめ 株式会社サンステラ マーケティング部 部長代理 勝亦 俊貴 氏 ○ 府中発！ 3Dプリンタで変える未来のものづくり 株式会社モノミラ 代表取締役 山路 大介 氏 ○ 地場企業による3Dプリンタ活用事例発表 太洋電機産業株式会社 技術部 課長 茂川 知寛 氏 カイハラ産業株式会社 施設環境管理部施設管理課 課長 伊達 承宏 氏 ○ 会員参加型企画の説明 東部工業技術センター デジタルものづくり支援担当 担当部長 竹保 義博 氏	55	R 5. 10. 18	東部工業 技術 センター
第 3 回 研 究 会	○ 500万円以下でこんなにできる！ 3Dプリンタ活用 株式会社アイ・メーカー 代表取締役 原田 逸郎 氏 ○ 既存技術と3Dプリンタのハイブリッド化で新たな価値を提供 株式会社キャスト 鋳造開発部 鋳造技術課 上席課長 高橋 健治 氏 ○ 地場企業による3Dプリンタ活用事例発表 ～有限会社光陽機械製作所様～ 東部工業技術センター デジタルものづくり支援担当 担当部長 竹保 義博 氏 ○ 会員参加型企画の説明 東部工業技術センター デジタルものづくり支援担当 担当部長 竹保 義博 氏	40	R 5. 12. 7	東部工業 技術 センター

第 4 回 研 究 会	○ 広がる3Dプリンタ用途！ なぜ世界でSLS方式3Dプリンタが注目されるのか！ 株式会社システムクリエイト マーケティング部 市場開発グループ 岩井 浩希 氏 ○ 試作から量産まで！ 金属3Dプリンタの技術動向と活用事例 ニデックマシンツール株式会社 大型機事業部 主幹技師 田内 拓至 氏 ○ 地場企業による3Dプリンタ活用事例発表 ～KMTX株式会社（ケムテックス）様～ 東部工業技術センター デジタルものづくり支援担当 担当部長 竹保 義博 氏 ○ 会員参加型企画の結果報告 東部工業技術センター デジタルものづくり支援担当 担当部長 竹保 義博 氏	45	R 6. 2. 8	東部工業 技術 センター
----------------	---	----	-----------	--------------------

(4) 他機関への協力・支援

① 各種地域団体への協力・支援

名 称		出席者	開催日	開催地
福山溶接協会 福山市溶接技術コンクール	役 員 会	大 賀 誠 大 石 郁 大 田 耕 平 市 川 皓 基	R 5. 8.21	福 山 市
	コンクール	大 賀 誠 大 石 郁 市 川 皓 基	R 5.10.14	福 山 市
	審 査 会	大 賀 誠 市 川 皓 基	R 5.12. 6	福 山 市
	表 彰 式	大 賀 誠 大 石 郁 市 川 皓 基	R 5.12.13	福 山 市
一般財団法人備後地域地場産業振興センター 運営委員会		大 賀 誠	R 5. 5.17 R 6. 3.19	福 山 市
広島中央サイエンスパーク研究交流推進協議会 協議会 総会		宗 廣 修 興 大 賀 誠	R 5. 4.20 R 5. 5.26	(web)
一般社団法人広島県発明協会備後支会 備後地区生徒児童発明くふう展審査会審査会		大 賀 誠	R 5. 9. 7	福 山 市

② 行政施策への協力・支援

ア 広島県

名 称	出席者	開催日	開催地
ひろしま IoT 実践道場	古 本 浩 章	R 5. 5.30 R 5. 7.26 R 5.10. 5 R 5.12.19 R 6. 1.30	(w e b)
AI・IoT・ロボティクス活用研究会	竹 保 義 博 古 本 浩 章	R 5.12.13	福 山 市
広島県東部産業支援会議	大 賀 誠	R 5. 6. 2	福 山 市
広島県産業支援機関等連携推進会議	大 賀 誠 宗 廣 修 興	R 6. 3.21	(w e b)

イ 福山市

名 称	出席者	開催日	開催地
産業支援者連絡会議	宗 廣 修 興 大 賀 誠	R 5. 6. 8 R 6. 3.14	福 山 市
グリーンなものづくり企業プラットフォーム 構築検討会議 〃 運営会議	大 賀 誠 〃 〃	R 5. 7. 5 R 5.10.13 R 5.10.13	福 山 市
中小企業等 SDGs 推進事業補助金 審査会	大 賀 誠	R 5. 7. 12	福 山 市
環境審議会	青 山 進	R 5. 7.26 R 5.11.16 R 6. 2. 1	福 山 市

ウ 三原市

- ・ 該当無し

エ 府中市

- ・ 該当無し

(5) 他機関との連携

① 産業技術連携推進会議

ア 総会

名 称	出席者	開催日	開催地
第 64 回産業技術連携推進会議 総会	大 賀 誠	R 6. 1. 22	(web)

イ 技術部会

名 称	出席者	開催日	開催地
製造プロセス部会 IoT ものづくり分科会 2023	竹 保 義 博 古 本 浩 章	R 5. 11. 9 ～ 11. 10	福 岡 県
製造プロセス部会 精密微細加工分科会 積層造型研究会	竹 保 義 博	R 5. 11. 21	(web)
ナノテクノロジー・材料部会 高分子分科会	谷 口 勝 得	R 5. 11. 28	(web)
知的基盤部会 計測分科会	佐々木秀和 山 形 亮 太	R 5. 12. 6 ～ 12. 8	(web)

ウ 地域産業技術連携推進会議

名 称	出席者	開催日	開催地
中国地域産業技術連携推進会議 企画分科会	大 賀 誠	R 5. 5. 30	(web)
	宗 廣 修 興	〃	
	大 賀 誠	R 6. 1. 16	
	宗 廣 修 興	〃	

エ 地域部会

名 称	出席者	開催日	開催地
中国地域連携推進企画分科会 感性創造 3D ものづくり研究会	竹 保 義 博	R 6. 2. 15	(web)
中国地域部会 機械・金属技術分科会	松 葉 朗	R 6. 1. 25	(web)

② 中国・四国地方公設試験研究機関

名 称	出席者	開催日	開催地
中国・四国地方公設試験研究機関 企画担当者会議	宗 廣 修 興	R 5. 10. 24	(web)
中国四国地方公設試験研究機関 共同研究（精密加工分野）推進協議会	佐々木秀和 山 形 亮 太	R 6. 2. 29 ～ 3. 1	米 子 市

③ その他

ア 国立研究開発法人産業技術総合研究所との連携及び協力

名 称	出席者	開催日	開催地
地域連携ウェビナー	水 成 重 順	R 5. 7. 24 R 5. 10. 12 R 6. 2. 26 R 6. 3. 8	(web)
連携アドバイザー連絡会議	水 成 重 順	R 5. 9. 21	東広島市
中国・四国地域公設試験研究機関研究者合同研修会	渡 邊 正 宗	R 5. 10. 17 ～ 10. 18	東広島市
分析事例討論会	青 山 進 渡 邊 正 宗	R 5. 10. 26	広 島 市
第 1 回中国地域産総研技術セミナー	水 成 重 順	R 5. 12. 15	(web)
第 2 回中国地域産総研技術セミナー	大 賀 誠 宗 廣 修 興 水 成 重 順 青 山 進 池 田 慎 也 倉 本 恵 治 渡 邊 正 宗	R 6. 1. 15	(web)
マテリアルDXシンポジウム	山 口 翔 大 青 山 進	R 6. 3. 14	(web)

イ 地方公設試験研究機関の連携

- ・ 該当無し

4. 技術サービス業務

(1) 依頼試験、設備利用及び機器整備

① センター研究員による依頼試験

ア 地域別

	地域名								合計
	広島市	三原市	尾道市	福山市	府中市	世羅町	山口県	岡山県	
申請件数	10	1	38	195	4	12	1	9	270
企業数	2	1	2	28	3	1	1	3	41
実績件数	21	40	57	460	9	12	6	56	661

イ 試験項目・担当部別

項目名 \ 担当部	材料技術部 材 料 技 術 研 究 部	加工技術部 加 工 技 術 研 究 部	実績件数計	企業数
材料試験	0	314	314	15
機械器具性能強度試験	126	39	165	12
機械性状試験（木材）	0	2	2	1
製品試験	0	9	9	4
染色堅ろう度	2	0	2	1
活性炭試験	10	0	10	2
測定	18	19	37	7
一般定量分析	36	0	36	2
特殊定性試験及び 特殊定量分析	1	29	30	4
工業用水・工場排水試験	48	0	48	1
写真	0	2	2	1
成績書及び証明書	1	0	1	1
前処理及び試料調製	0	5	5	2
合 計	242	419	661	41

※同一企業で複数項目の対応があるため、企業数の合計は一致しない。

②試験研究業務従事員による依頼試験（コンクリート・鉄筋関連）

ア 地域別

	地 域 名							
	広 島 市	呉 市	三 原 市	尾 道 市	福 山 市	府 中 市	庄 原 市	坂 町
申請件数	177	6	3	97	1,325	169	8	10
企 業 数	18	2	3	12	39	4	2	2
実績件数	525	11	8	291	4,043	365	23	56
	地 域 名							合 計
	世羅町	神石高原町	岡 山 県	島 根 県	鳥 取 県	他都道府県		
申請件数	4	20	141	4	8	33	2,005	
企 業 数	1	1	19	2	1	9	115	
実績件数	12	50	596	12	22	124	6,138	

イ 試験項目別

項 目 名	実 績 件 数	企 業 数
鉄筋コンクリート用棒鋼（引張、曲げ、曲げ戻し）試験	1,147	61
コ ン ク リ ー ト 圧 縮 試 験	4,798	63
写 真	22	9
成 績 書 、 証 明 書	155	23
前 処 理 、 試 料 調 製	16	10
合 計	6,138	115

※同一企業で複数項目の対応があるため、企業数の合計は一致しない。

③ 設備利用

ア 地域別

	地 域 名									
	広島市	呉 市	竹原市	三 原 市	尾 道 市	福 山 市	府 中 市	三 次 市	庄 原 市	東広島市
申請件数	140	67	4	30	60	1,015	70	23	13	113
企 業 数	25	10	1	8	12	90	9	2	3	14
実績件数	501	118	12	68	120	2,663	301	100	25	360
	地 域 名									合 計
	廿日市市	安芸高田市	府 中 町	海田町	世羅町	山口県	岡山県	鳥取県	他都道府県	
申請件数	2	8	12	20	3	4	265	2	49	1,900
企 業 数	1	1	3	6	2	2	33	1	12	235
実績件数	13	43	39	40	9	18	828	3	238	5,499

イ 設備別

設 備 名	件数	企業数	設 備 名	件数	企業数
万能引張圧縮試験機(10kN)	449	17	伝導性イミューニティ試験機	131	5
走査型電子顕微鏡	441	42	赤外分光光度計	122	30
FE 式走査型電子顕微鏡	340	22	万能引張圧縮試験機(500kN)	100	22
X線CT	307	59	スガ式摩耗試験機	93	3
恒温乾燥機	225	5	シールドルーム	85	9
塩乾湿複合サイクル試験機	202	8	万能引張圧縮試験機(100kN)	81	15
熱分析装置	163	8	分光放射輝度計	78	6
振動試験機	142	14	その他	1,289	110
恒温恒湿器	141	13	設備利用において職員が行う機器操作	830	165
X線回折装置	140	9			
インフレーション成形機	140	6	合 計	5,499	235

※同一の企業が複数の設備を利用しているため、企業数の合計は一致しない。

ウ 機器整備

・令和5年度整備の機器

機 器 名	メーカー・型番	数量	使用目的	取 得 年月日	設置場所
角度可変スライサー	ジャスコエンジニアリング株式会社 HW-1型	1 式	成分分析等のための切片作成、断面出し	R 5. 8. 8	化学プロセス研究室
メルトインデクサー ¹⁾	インストロンジャパン カンパニイリミテッド MFi7	1 式	メルトフローレートやメルトボリュームフローレートの測定	R 5.12.19	化学プロセス研究室

1) 公益財団法人 JKA 「2023 年度公設工業試験研究所等における機械設備拡充 補助事業」により整備

・令和4年度以前に整備した主要機器（平成24年度以降取得分）

機 器 名	メーカー・型番	数量	使用目的	取 得 年月日	設置場所
データロガー****	株式会社キーエンス NR-500	1 式	測定した温度などのデータ記録、表示、解析	R 5. 2. 3	三次元画像計測室
高速回転ホルダー**	株式会社戸田精機 BT50-FSW20U5-310	1 式	摩擦かくはん接合装置の接合ツール回転速度の高速化	R 4.12.27	システム技術普及センター
圧縮強度試験機*	株式会社東京衡機試験機 AC-2000S5	1 式	主にコンクリートの圧縮強度の測定	R 4.12.21	開放試験室
振動試験機*	IMV株式会社 J230/EM3AM	1 式	工業製品の振動に対する耐久性の評価	R 4.12. 2	YAG レーザー実験室
浸漬型光ファイバー温度計****	JFEプラントエンジニアリング株式会社 FIMTHERM-HM II	1 式	金属接合時の温度測定	R 4. 3.18	システム技術普及センター
ミシン	ブラザー工業株式会社 S-7250A-303	1 式	繊維試験の試料等の作製	R 3. 7. 7	繊維加工技術研究室
レーザ加工機***	サンインストルメント株式会社 YS-P30	1 式	レーザにより表面処理加工を実施	R 3. 2.22	照明設計開発室
万能引張圧縮試験機(100kN) *	株式会社エー・アンド・ディ RTF-2410	1 式	引張・圧縮・曲げ強度・歪みを測定	R 2.11.13	木質材料試験室
データロガー**	グラフテック株式会社 GL7000Plus	1 式	測定した温度などのデータ記録、表示、解析	R 2.11.12	塗装試験室
粉体供給装置**	Metallisation 2007MF-PF	1 式	溶射装置へ粉体を安定して供給	R 2.10. 5	塗装試験室
摩擦かくはん接合装置	東芝機械株式会社 MPF-2114FS	1 式	摩擦攪拌技術による金属材料等の接合	R 2. 3.19	システム技術普及センター
データロガー	株式会社キーエンス NR-600	1 式	測定した温度、変位、荷重、電圧などのデータ記録、表示、解析	R 1. 9. 27	電子測定機器室
精密強度評価用万能試験機	株式会社島津製作所 AG-Xplus 10kN	1 式	引張・圧縮・曲げ強度・ひずみ測定	H31. 1.21	新素材応用研究室
熱衝撃試験機	エスバック株式会社 TSA-203ES-W	1 式	急激な温度変化による信頼性・耐久性評価	H31. 1.18	炭素繊維複合材料研究室
X 線 CT	株式会社島津製作所 inspeXio SMX-225CT FPD HR	1 式	非破壊での内部観察	H30.12.25	内部構造測定室
製品設計シミュレータ	SOLIDWORKS Professional SOLIDWORKS Simulation Premium ANSYS Mechanical Enterprise	1 式	熱・構造解析ソフトウェア	H30.12.21	第3相談室
3D デジタイザ	東京貿易テクノシステム株式会社 COMET L3D2	1 台	非接触での形状情報取得	H30.12.21	LED 等計測評価試験室
FE 式走査型電子顕微鏡	日本電子株式会社 JMS-7200F	1 式	電子線を用いた対象物の形状観察	H30.10.19	工業材料試験室

蛍光 X 線分析装置*	株式会社リガク ZSXprimus	1 式	元素の定性・定量分析	H30. 9. 6	工業材料試験室
雑音電力測定システム	株式会社東陽テクニカ MAC600A	1 式	EMC 評価	H30. 3. 28	シールドルーム
熱分析装置*	株式会社リガク Thermo plus EVO2 TG-DTA8122	1 式	熱的物性評価	H29. 9. 25	高分子加工研究室
マルチセンサ式座標測定機*	QVI社SmartScope VANTAGE600	1 式	部品の座標測定	H29. 1. 13	精密測定室
恒温恒湿器*	エスペック(株)ARS-1100-J	1 式	温度環境試験	H27. 12. 11	高分子融合化開放試験室
マルチデータ収録システム	グラフテック(株)GL7000	1 式	測定した温度、変位、荷重、電圧などのデータ記録、表示、解析	H27. 9. 18	電子測定機器室
塩乾湿複合サイクル試験機*	スガ試験機(株)CYP-90型	1 式	金属材料等の塩水噴霧や複合サイクル試験	H26. 12. 8	第 1 開放試験室
光フリッカー測定器	(株)トプコンテクノハウスRD-80SA	1 式	光フリッカー測定試験	H26. 9. 30	照明計測評価試験室
近赤外分光放射輝度計	(株)トプコンテクノハウスSR-NIR	1 式	近赤外分光計測	H26. 9. 30	照明計測評価試験室
複合材料切断機	平和テクニカ(株)32F-300型	1 台	複合材料の強度試験用試験片製作	H26. 2. 28	製織準備室
湿式試料切断機	島本鉄工(株)SM603C	1 台	鉄鋼・非鉄金属等を分析に適した形状に切断	H26. 1. 23	工作実験室
炭素硫黄分析装置*	米国LECO社CS844型	1 式	鉄鋼・非鉄金属等の炭素と硫黄の測定	H26. 1. 23	金属化学試験室
走査型電子顕微鏡	日本電子(株)JSM-6010LA	1 式	電子線を用いた対象物の形状観察	H25. 10. 31	工業材料試験室
電子部品実装装置	日本LPKF(株)ProtoPrintE等	1 式	電子部品のプリント基板実装	H25. 10. 4	照明設計開発室
プリント基板加工装置	日本LPKF(株)Protolasers等	1 式	電子回路基板の試作	H25. 10. 4	照明設計開発室
自動接触角計	データフィジックス社OCA15Pro型	1 台	液体と固体の表面のぬれ性評価	H25. 1. 17	繊維製品開発研究室
圧縮成形機	(株)神藤金属工業所AWF-37HC	1 台	複合材料等の加熱圧縮成形	H24. 12. 17	製織準備室
伝導性イミューニティ試験機	EM TEST社UCS500N5型	1 式	ノイズが電子機器に入った時の誤作動試験	H24. 9. 28	シールドルーム
伝導性妨害波測定機	ローデ・シュワルツ社シグナルアナライザFSV3	1 式	電子機器の伝導性ノイズ測定	H24. 9. 28	シールドルーム
静電気イミューニティ試験機	(株)ノイズ研究所ESS-S3011	1 式	静電気による電子機器の誤作動試験	H24. 9. 25	シールドルーム
マニユアルボールワイヤーボンダ	WEST・BOND社モデル7700D	1 式	半導体部品と回路基板の結線	H24. 9. 21	光学実験室

* 公益財団法人 JKA「公設工業試験研究所等における機械設備拡充補助事業」により整備

** 公益財団法人 JKA「公設工業試験研究所等が主体的に取り組む共同研究補助事業」により整備

*** 公益財団法人天田財団「奨励研究助成（若手研究者枠）事業」により整備

**** 公益財団法人天田財団「奨励研究助成（一般研究開発助成事業）事業」により整備

(2) 刊行物等による情報提供

業務概要、年報及び研究報告をホームページ（<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/29/>）に掲載しました。

(3) 外部委員等の委嘱及び講師等の派遣

① 外部委員等の委嘱

委 嘱 元 機 関	内 容	委 員
一般社団法人溶接学会中国支部	副支部長	坂 村 勝
一般社団法人日本複合材料学会	代議員	松 葉 朗
一般社団法人日本複合材料学会西部支部	支部幹事	松 葉 朗
公益財団法人日本鋳造工学会中国四国支部	常任理事	花 房 龍 男
一般社団法人日本溶射学会西日本支部	幹事	花 房 龍 男
一般社団法人広島県発明協会備後支会	備後地区生徒児童発明くふう展審査会審査委員長	大 賀 誠
一般財団法人備後地域地場産業振興センター	運営委員会委員	大 賀 誠
広島中央サイエンスパーク 研究交流推進協議会	広島中央サイエンスパーク研究交流推進協議会理事	大 賀 誠
	広島中央サイエンスパーク研究交流推進協議会幹事	宗 廣 修 興
一般社団法人広島県溶接協会	広島県溶接技術競技会審査委員	大 石 郁 大 田 耕 平 市 川 皓 基
一般社団法人軽金属溶接協会	FSW 技術委員会委員	坂 村 勝
福 山 溶 接 協 会	福山市溶接技術コンクール審査委員長	大 賀 誠
	福山市溶接技術コンクール審査委員	大 石 郁 大 田 耕 平 市 川 皓 基
中国ゴム技術研究会	常任幹事	塚 脇 聡
広島県職業能力開発協会	技能検定委員	橋 本 寿 之 山 口 翔 大
福 山 市	福山市販路開拓支援事業審査会委員	大 賀 誠
	福山市環境審議会委員	青 山 進

② 講師及びその他の業務による派遣

派遣先機関	内 容	職 員	期 間	派遣地
一般社団法人 広島県溶接協会	広島県溶接技術競技会競技審査	大 石 郁 大 田 耕 平 市 川 皓 基	R 5. 5.28	広島市
		大 田 耕 平 市 川 皓 基	R 5. 6.11	広島市
		大 石 郁	R 5. 7. 2	広島市
広島県職業能力 開発協会	技能検定実技試験（化学分析作業）技能 検定委員 ・水準調整会議	橋 本 寿 之 山 口 翔 大	R 5. 6. 5 〃	広島市 〃
	・前期技能検定実技試験 （化学分析作業 1・2 級）	橋 本 寿 之 山 口 翔 大	R 5. 8.27 〃	福山市 〃
公益財団法人 天田財団	助成金目録贈呈式	市 川 皓 基	R 5.11.25	神奈川県

(4) その他(技術交流等)

○ 学協会への協力

学 協 会	出席者	開催日	開催地
広島大学デジタルものづくり教育研究センター 材料MBRコンソーシアム	谷口 勝得 青山 進 塚脇 聡 谷口 勝得	R 5. 6.27 R 6. 1.26 〃 〃	(web)
広島大学デジタルものづくり教育研究センター スマート検査・モニタリング共創コンソーシアム	宗廣 修興 竹保 義博	R 6. 1.22	(web)
一般社団法人溶接学会 秋季全国大会	大石 郁 市川 皓基	R 5. 9.13 ～ 9.15	富 山 県
一般社団法人溶接学会 見学会	大石 郁 大田 耕平 市川 皓基	R 5.11. 8	府 中 町
一般社団法人日本複合材料学会 社員総会	松 葉 朗	R 5. 6.27	(web)
公益社団法人日本鋳造工学会 中国四国支部講演会	花 房 龍 男	R 5.12.13	広 島 市
中国ゴム技術研究会 幹事会	塚脇 聡	R 6. 1.17	岡 山 県
次世代液体燃料シンポジウム 2024	坂 村 勝	R 6. 2. 9	(web)
公益社団法人日本金属学会 春期講演大会	大 石 郁	R6. 3.12 ～3.14	東 京 都
第 15 回 日本複合材料会議	松 葉 朗	R6. 3.14 ～3.15	京 都 府
一般社団法人日本計算工学会【地域密着型 CAE/CAX 研究会発 足記念】第 12 回公設試シンポジウム	塚脇 聡	R 6. 3.18	(web)
中国ゴム技術研究会講演会	青 山 進 塚 脇 聡	R 6. 3.21	福 山 市

5. 職員研修

名 称	職 員	期 間	研修先
ソリッドワークスセミナー（初級編）	大 田 耕 平	R 5. 4. 19	ソリッドワークス・ ジャパン株式会社 (w e b)
クラウドコンピューティングサービスの活用技術 (AWS 編)	古 本 浩 章	R 5. 6. 1 ～ 6. 2	福 山 職 業 能 力 開 発 短 期 大 学 校
(初級) 知的財産権研修	渡 邊 正 宗 山 形 亮 太 市 川 皓 基	R 5. 6. 6 ～ 6. 8	独立行政法人工業所有権 情 報 ・ 研 修 館 (W e b)
甲種防火管理新規講習	舟 木 敬 二	R 5. 6. 22 ～ 6. 23	広 市 民 セ ン タ ー
広島高分子材料研修会	塚 脇 聡	R 5. 6. 23	広島市工業技術センター
クラウド活用による IoT システム構築技術	古 本 浩 章	R 5. 6. 29 ～ 6. 30	福 山 職 業 能 力 開 発 短 期 大 学 校
不当要求防止責任者講習	舟 木 敬 二	R 5. 8. 1	県民文化センター福山
一般社団法人溶接学会 溶接・接合工学学修会	市 川 皓 基	R 5. 8. 29	RCC 文化センター
鋳造 CAE の活用事例紹介セミナー	水 成 重 順	R 5. 8. 30	ひろしまデジタル イノベーションセンター (w e b)
公設試験研究機関研究職員研修	市 川 皓 基	R 5. 9. 25 ～ 9. 28	中 小 企 業 大 学 校 東 京 校
溶接管理技術者再認証試験	大 田 耕 平	R 5. 9. 25	岡山コンベンション セ ン タ ー
非線形解析操作研修 (LS-DYNA)	山 形 亮 太	R 5. 10. 30	ひろしまデジタル イノベーションセンター
ウェアリング技術研究成果発表会	谷 口 勝 得	R 5. 11. 29	東京国際フォーラム (w e b)
危険物取扱者保安講習	橋 本 寿 之	R 5. 12. 13	福山市生涯学習プラザ
やさしい測定の不確かさ	山 形 亮 太	R 5. 12. 14 ～ 12. 15	株式会社ミットヨ 大阪営業所
保護具着用管理責任者教育	花 房 龍 男	R 6. 1. 11	RCC 文化センター
化学物質管理者講習	倉 本 恵 治	R 6. 1. 12	RCC 文化センター
デジタルツール（生成 AI など）の勉強方法	水 成 重 順 坂 村 勝	R 6. 1. 22	ひろしまデジタル イノベーションセンター (w e b)

6. 知的財産権

(1) 登録特許権等

登録番号	発明の名称	特許権者	発明者	出願日
4376938	コルヌ螺旋歯形歯車	広島県、宮奥 勉	佐々木秀和、宮奥 勉、 兼廣二郎	H18. 4. 6
5659343	パルスデトネーション溶 射装置及び溶射方法	国立大学法人広島 大学、広島県、マイ メタリコン株式会 社、鈴木精工株式 会社、関西テクノサ ポート	遠藤琢磨、須佐秋生、 花房龍男、竹保義博、 松浦英次、鈴木忠彦、 榎原 均	H22. 6. 30
5679259	鉤型手動利器、グリップア タッチメント及びグリップ 被覆構造	広島県、有限会社 ウド・エルゴ研究所	塚脇 聡、宇土 博	H22. 3. 30
5854451	異種金属板の接合方法	広島県	大石 郁、坂村 勝、 竹保義博	H23. 2. 18
6260902	ビタミン A 測定装置及び ビタミン A 測定システム	広島県、株式会社 藤原製作所、東亜デ ィーケーケー株式会社	河野幸男、和田雅行、 宮野忠文、廣川勝久、 藤原基次、井上浩一、 伊藤 哲、羽毛田靖	H26. 3. 10
6837634	光源および誘因抑制方法	広島県	石倉 聡、軸丸 祥 大、星野 滋、亀井 幹夫、和田 雅行	R1. 7. 30
6977996	異材接合方法	広島県	松葉 朗、坂村 勝、 竹保 義博	H30. 3. 29

(2) 出願中の特許等

- ・ 該当無し

7. 職員表彰と学位授与

(1) 職員表彰

- ・ 該当無し

(2) 学位授与

- ・ 該当無し

8. 沿革・組織・規模

(1) 沿革

《広島県立福山繊維工業試験場》

明治40年 5月(1907)	農商務大臣より設立認可を受ける。
明治41年 3月(1908)	福山西町に広島県繊維工業試験場を設置する。
大正 3年 3月(1914)	広島市白島に広島分場を設置する。
大正 7年 4月(1918)	総合試験場設置のため本場を広島県工業試験場染織部と改称し、染料部を増設する。分場を染織支部と改める。
大正08年 4月(1919)	広島県福山工業試験場に改称する。
大正09年 4月(1920)	広島分場は広島工業試験場に合併する。
昭和11年 8月(1936)	福山市野上町に庁舎を移転する。
昭和19年 3月(1944)	図案部を廃止する。
昭和19年 5月(1944)	広島県工業指導所福山支所と改称する。
昭和20年 2月(1945)	広島県工業研究所福山支所と改称する。本所が原爆で壊滅したため、化学・金属・食糧に関する業務を福山支所で行う。
昭和22年 1月(1947)	広島県福山工業試験場に名称復元する。
昭和42年 4月(1967)	広島県立福山繊維工業試験場と改称する。
昭和46年 4月(1971)	福山市山手町に庁舎を新築移転する。
昭和62年 3月(1987)	組織改正（広島県立東部工業技術センターとしての発足）のため、閉庁する。

《広島県立工芸試験場》

昭和28年 4月(1953)	広島県立木履指導所として設立する。
昭和28年 5月(1953)	沼隈郡松永町（現、福山市松永町）371番地の10に庁舎を竣工する。
昭和33年 4月(1958)	広島県立木工指導所と改称する。
昭和43年 3月(1968)	府中市須田町中須田地1648番地の3に府中事務所を設置する。
昭和43年 8月(1968)	福山市柳津町2252番地の18に新庁舎竣工、移転する。
昭和47年 3月(1972)	広島県立工芸試験場に改称する。
昭和47年10月(1972)	府中事務所に木工開放試験室を設置する。
昭和62年 3月(1987)	組織改正（広島県立東部工業技術センターとしての発足）のため、閉庁する。

《広島県立西部工業技術センター福山支所》

昭和24年11月(1949)	呉市公園通6丁目に広島県立呉工業試験場を設置する。
昭和39年 4月(1964)	福山市野上町に福山支場を設置する。
昭和40年 5月(1965)	福山市山手町に庁舎を新築移転する。
昭和59年 4月(1984)	広島県立西部工業技術センター福山支所に改称する。
昭和62年 3月(1987)	組織改正（広島県立東部工業技術センターとしての発足）のため、閉庁する。

《広島県立東部工業技術センター》

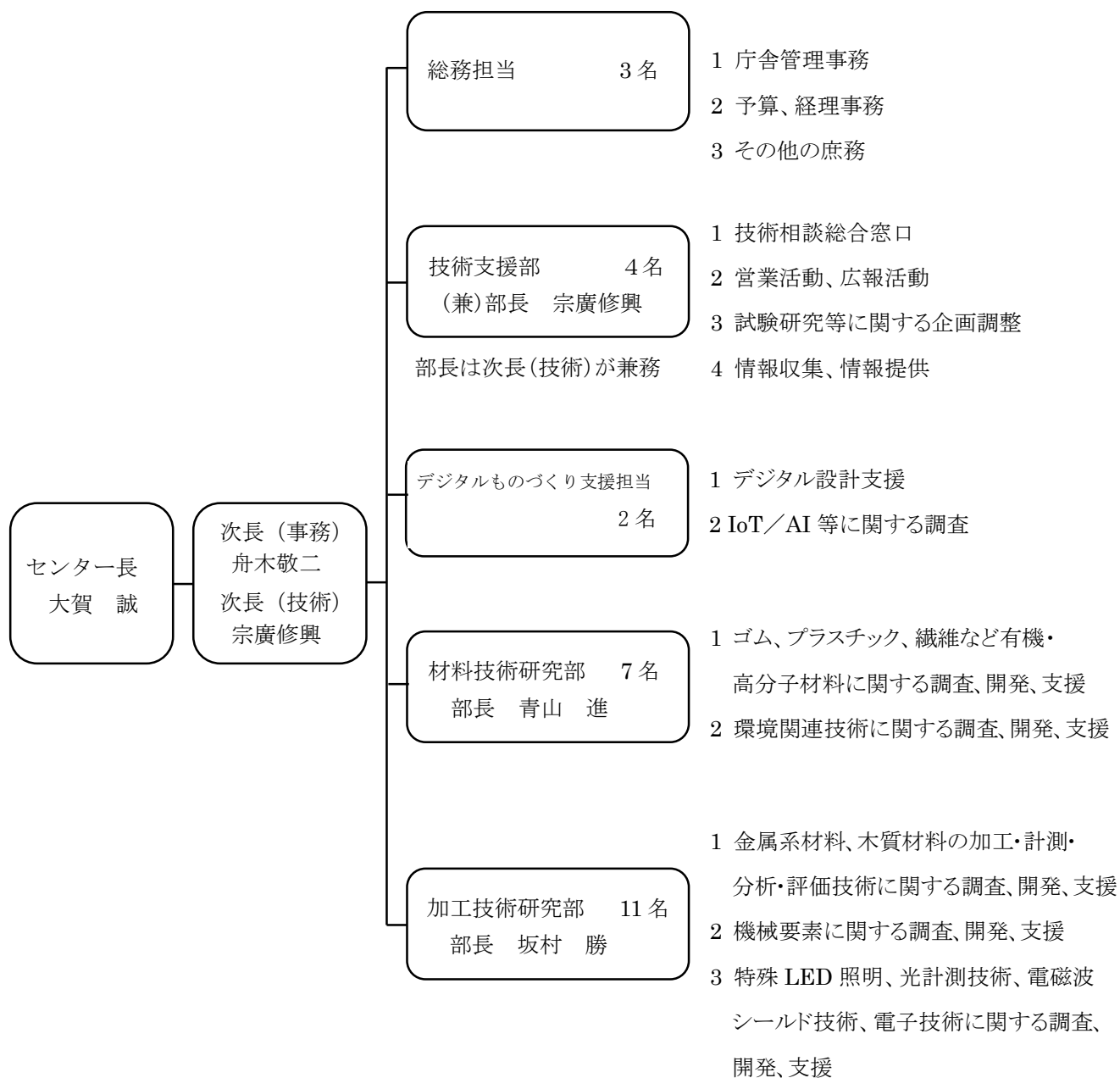
昭和62年 4月(1987)	広島県立東部工業技術センターを設置する。事務所は、各々旧試験場（支所）に分散する。
昭和62年 7月(1987)	広島県福山市東深津町三丁目2番39号に庁舎を新築、移転する。
平成 2年 3月(1990)	地域システム技術開発事業により地域システム普及センターを増設する。
平成 5年 4月(1993)	組織の一部を改正し、企画管理部、機械金属部、電子応用部、工業デザイン部、木材工業部、繊維工業部、工業化学部とする。
平成 7年 5月(1995)	天皇、皇后両陛下のご視察を賜る。
平成11年 4月(1999)	組織を業種対応型から技術対応型に改正し、企画管理部、情報技術部、材料技術部、応用加工技術部、産業デザイン部、生活技術部とする。
平成16年 4月(2004)	県内8試験研究機関が一元化され、総務企画部の地方機関となる。
平成18年 4月(2006)	行政機構改編に伴い、政策企画部の地方機関となる。

(広島県立総合技術研究所 東部工業技術センター)

平成19年 4月(2007)	8試験研究機関を統合し広島県立総合技術研究所を設置する。事務所は各々センターに分散する。組織を総務担当、技術支援部、加工技術研究部、材料技術研究部とする。
平成25年 4月(2013)	LEDプロジェクトチームを設置する。（平成28年4月プロジェクト終了に伴い、チームを解消する。）
平成30年 4月(2018)	デジタルものづくり支援担当を設置する。

(2) 組 織

(令和 6 年 3 月 31 日現在)



計 30 名（外 試験研究業務従事員 4 名）

(3) 職 員

① 現員の状況

(令和6年3月31日現在)

区 分		セン ター 長	次 長	部 長	担 当 部 長	総 括 研 究 員	副 部 長	主 任 研 究 員	研 究 員	主 査	主 任	研 究 員 (エル ダー)	主 任 (エル ダー)	計	試 験 研 究 業 務 従 事 員
現 員		1	2	2	3	1	2	11	3	2	1	1	1	30	4
内 訳		1	2											3	
	総 務 担 当									2	1			3	
	技 術 支 援 部			(1)	1			2					1	4	
	デジタルものづくり 支 援 担 当				1			1						2	
	材料技術研究部			1		1	1	3	1					7	2
	加工技術研究部			1	1		1	5	2			1		11	2

技術支援部長(1)は次長が兼務

② 職 員

所属	職 名	氏 名
	セ ン タ ー 長	大 賀 誠
	次 長	舟 木 敬 二
	〃	宗 廣 修 興
総務担当	主 査	大 成 篤
	〃	迫 田 聖 二
	主 任	本 井 孝 浩
技術支援部	(兼) 部 長	宗 廣 修 興
	担 当 部 長	水 成 重 順
	主 任 研 究 員	橋 本 寿 之
	主 任 研 究 員	山 口 翔 大
	主任 (エルダー)	青 山 勝 則
デジタル ものづくり 支援担当	担 当 部 長	竹 保 義 博
	主 任 研 究 員	古 本 浩 章
材料技術研究部	部 長	青 山 進
	総 括 研 究 員	池 田 慎 哉
	副 部 長	倉 本 恵 治
	主 任 研 究 員	塚 脇 聡
	〃	小 村 直 樹

	主 任 研 究 員	谷 口 勝 得
	研 究 員	渡 邊 正 宗
	試験研究業務従事員	松 岡 秀 子
	〃	河 相 美 幸
加工技術研究部	部 長	坂 村 勝
	担 当 部 長	松 葉 朗
	副 部 長	花 房 龍 男
	主 任 研 究 員	古 山 安 之
	〃	中 濱 久 雄
	〃	大 石 郁
	〃	佐々木 秀 和
	〃	大 田 耕 平
	研 究 員	山 形 亮 太
	〃	市 川 皓 基
	研究員 (エルダー)	廣 川 勝 久
	試験研究業務従事員	寺 岡 武
	〃	金 本 紘 一

(4) 土地・建物

敷地面積：10,017.65m²、建築面積：4,072.22m²、延べ面積：6,503.16m²

名 称	構 造	建築面積(m ²)	延べ面積(m ²)	年月日
研 究 棟	鉄筋コンクリート造	1,079.51	3,627.37	S62. 6.24
実 験 棟	鉄 骨 造	2,475.36	2,208.85	H 2. 3.23 (改 築)
エネルギー棟	鉄筋コンクリート造	319.73	469.32	S62. 6.24
車 庫 棟	鉄 骨 造	93.60	93.60	S62. 6.24
危 険 物 庫	鉄 骨 造	14.57	14.57	S62. 6.24
渡 廊 下	鉄 骨 造	44.45	44.45	S62. 6.24
駐 輪 場	鉄 骨 造	24.00	24.00	S62. 6.30
ゴ ミ 集 積 場	鉄 骨 造	21.00	21.00	S62. 6.24

(5) 予算の執行状況

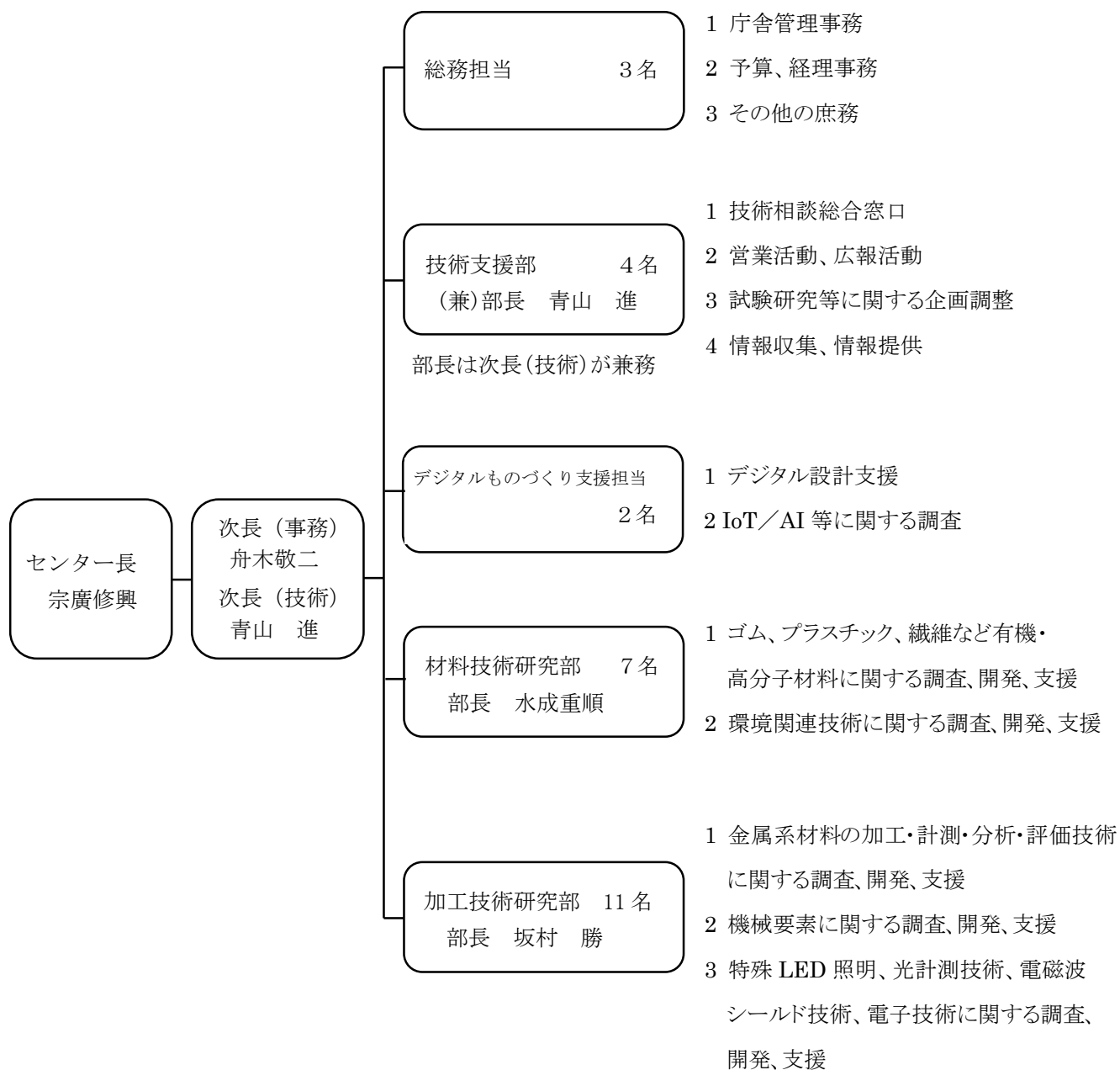
(単位：円)

項 目		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	備 考
歳 入 (人件費を除く)		43,749,490	72,505,048	47,651,981	
内 訳	使用料・手数料等	23,388,700	30,204,800	28,816,900	
	一 般 財 源	10,601,590	34,434,468	11,559,877	
	財 産 収 入	299,550	209,650	209,030	
	諸 収 入	9,459,650	7,656,130	7,066,174	受託研究費、弁償金等
歳 出 (人件費を除く)		43,749,490	72,505,048	47,651,981	事業費の合計
内 訳	研究開発推進費	12,618,337	14,784,299	6,485,408	
	技 術 指 導 費	15,784,522	46,022,946	18,885,900	
	管 理 運 営 費	15,346,631	11,697,803	22,280,673	

付 録 令和 6 年度組織

(1) 組 織

(令和 6 年 4 月 1 日現在)



計 30 名（外 試験研究業務従事員 4 名）

(2) 職 員

① 現員の状況

(令和6年4月1日現在)

区 分	セ ン タ ー 長	次 長	部 長	担 当 部 長	総 括 研 究 員	副 部 長	主 任 研 究 員	主 任 研 究 員 (シニアスタッフ)	研 究 員	主 査	主 任	研 究 員 (エルダー)	主 任 (エルダー)	計	試験研究業務従事員
現 員	1	2	2	3	1	2	9	1	4	2	1	1	1	30	4
内 訳		1	2											3	
	総 務 担 当									2	1			3	
	技 術 支 援 部			(1)	1		1	1					1	4	
	デジタルものづくり支援担当				1		1							2	
	材料技術研究			1		1	3		1					7	2
	加工技術研究			1	1	1	4		3			1		11	2

技術支援部長(1)は次長が兼務

② 職 員

所属	職 名	氏 名
	セ ン タ ー 長	宗 廣 修 興
	次 長	舟 木 敬 二
	〃	青 山 進
	〃	青 山 進
総務担当	主 査	大 成 篤
	〃	迫 田 聖 二
	主 任	本 井 孝 浩
技術支援部	(兼) 部 長	青 山 進
	担 当 部 長	門 藤 至 宏
	主 任 研 究 員 (シニアスタッフ)	橋 本 寿 之
	主 任 研 究 員	山 口 翔 大
	主 任 (エルダー)	青 山 勝 則
デジタル 支援担当	担 当 部 長	竹 保 義 博
	主 任 研 究 員	古 本 浩 章
材料技術研究部	部 長	水 成 重 順
	総 括 研 究 員	池 田 慎 哉
	副 部 長	倉 本 恵 治
	主 任 研 究 員	塚 脇 聡
	〃	小 村 直 樹

	主 任 研 究 員	谷 口 勝 得
	研 究 員	渡 邊 正 宗
	試験研究業務従事員	松 岡 秀 子
	〃	河 相 美 幸
加工技術研究部	部 長	坂 村 勝
	担 当 部 長	松 葉 朗
	副 部 長	花 房 龍 男
	主 任 研 究 員	中 濱 久 雄
	〃	大 石 郁
	〃	佐々木 秀 和
	〃	大 田 耕 平
	研 究 員	山 形 亮 太
	〃	市 川 皓 基
	〃	押 野 純 大
	研究員 (エルダー)	廣 川 勝 久
	試験研究業務従事員	寺 岡 武
	〃	金 本 紘 一
	〃	金 本 紘 一

広島県立総合技術研究所
東部工業技術センター年報

令和5年度

(No.37)

編集者/発行者

広島県立総合技術研究所東部工業技術センター

〒721-0974 広島県福山市東深津町三丁目 2-39

電話 084-931-2402 / FAX 084-931-0409

URL <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/29/>

E-mail ekcgijutsu@pref.hiroshima.lg.jp